

みんなの図書館

発行日 令和元年9月5日(木) (年4回発行)

第56号



発行者 木更津市立図書館

木更津市文京2-6-51

TEL 0438-22-3190

FAX 0438-22-7509

Share books with your baby!



ブックスタートで赤ちゃんに絵本と笑顔を!

「ブックスタート」という言葉を知っていますか?

ブックスタートとは、生まれてくるすべての赤ちゃんに、絵本をひらく体験と楽しさをプレゼントする活動です。

ブックスタートは1992年にイギリスで始まりました。その後、日本では2000年の「子ども読書の年」を機に、東京都杉並区での試験実施を経て、全国へ広がりました。木更津市では、今年の4月から正式にブックスタートが始まり、乳児健康診査の会場で、赤ちゃんとお母さん1組ずつに絵本を読み、ブックスタートパックをプレゼントしています。



ブックスタートのキャッチフレーズは、「Share books with your baby!」、「赤ちゃんとお絵本をひらく楽しいひとときを共にする!」です。絵本で赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしてほしい…そんな思いを込めて木更津市もブックスタートを始めました。



←木更津市で配布しているブックスタートパック
絵本の他に、アドバイスブックや図書館の案内
などが入っています

・・・担当者からひとこと・・・

絵本を読み始めると、ニコニコと笑顔になったり、絵をじっと見つめたり、はたまた泣き出してしまったり…赤ちゃんの反応はそれぞれです。今日は泣いても、明日は笑顔で絵本を楽しんでくれるかもしれません。1冊の絵本が赤ちゃんとお母さんとの楽しい交流に役立ち、心温まるひとときとなってくれるようお願い、絵本を手渡しています。

イベントいろいろ

絵本講座～赤ちゃんが楽しむ絵本編～ 6/20 49人参加

わらべうたや赤ちゃん向けの絵本を楽しみながら、なぜ絵本を読むことが大切なのかお話ししました。絵本は心の栄養です。幼い頃から良質な絵本とたくさん出会ってください。

第12回大人のためのおはなし会 7/7 26人参加

図書館職員が大人のために語るおはなし会です。今回もさまざまな国の昔話から「ぼたもち蛙」、「黒いお姫さま」、「北斗七星」、「長くつをはいたねこ」など8話を語りました。



第10回れきおんミニコンサート 7/13 29人参加

詩人「北原白秋」をテーマに、懐かしい童謡を6曲紹介しました。今回は幼児も参加してくれ、時代や世代を超え、音楽を楽しむことができました。



ボランティア講座 点字教室 7/20 17人参加

講師の「きさらづ点訳の会」のみなさんのから点字の基礎を学びました。実際にシャンプーボトルやジュースの缶など、身近なものに刻印された点字を読む練習をしました。

夏休み企画

工作教室 手作り絵本講座 7/27 (午前・午後開催) 合計53人参加

小学生を対象に、手作り絵本サークル「ラ・メール」のみなさんを講師に迎え、オリジナル絵本作りを行いました。大人でもなかなか難しい作業でしたが、真剣に取り組み世界に1冊しかない素敵な絵本ができました！



こわ～いおはなし会 7/28・29 (各日2回開催) 合計31人参加

夏休み恒例のこわ～いおはなし会では、食いしん坊の女の子が食べられてしまう「狼おじさん」、衝撃の結末が待ち受ける「黄色いリボン」など、ゾクゾクとするお話や絵本を楽しみました。

1日図書館員体験 8/2・9・23 合計32人参加

図書館の歴史や役割を学ぶ、書庫の見学、本にフィルムカバーをかける、カウンターで図書の返却やチェック、辞書を使っての調べものなどたくさんの仕事を体験しました。「図書館の仕事って大変だけど楽しい！」との感想が嬉しかったです。



市内には、公民館が15館、地域交流センターが1館あります。その中の14館（文京公民館・富岡公民館以外）には図書のコーナーがあり、貸出を受けることができます。読みたい本がない場合は、公民館の窓口で図書のリクエストや予約もできます。図書館カードは共通で使えます。

4月に金田地域交流センターが開館しましたが、そこにも図書コーナーがあります。広々とした空間で、木の香りに包まれゆったりと読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



写真は金田地域交流センター図書コーナーの様子

おねがい

- * 借りた図書の返却は借りた所へお願いします。
- * 所蔵がない図書をリクエストされた場合、ご用意できないことがあります。なお、他の図書館から借りてご用意する場合は、図書館での貸出・返却をお願いしています。
- * 公民館・交流センターでの貸出・返却時間は、ご利用の施設で確認してください。

わたしの思い出の1冊 ～記憶の中に深く刻まれている1冊をご紹介します～

「ダルトニャン物語」 A・デュマ//著 講談社 (7/ G/テ)

図書館員 わんわん

心に残っている本は数多くある。子どもの頃に読んだ岩波書店の『ギリシア神話』や新書館の『トリスタンとイゾルデ』、学生時代に読んだ世界最長の小説『グイン・サーガ』、不思議な生物でいっぱい『ワンダフル・ライフ』、江戸時代への切ない追憶『逝きし世の面影』…。けれども人生を左右したということになると『三銃士』になるだろう。この本を読んで歴史を志したからだ。いわずと知れたフランスの文豪の歴史小説。子ども向けと思われることもあるが、元々は新聞小説で第三部まである長編である。第三部『ブラジュロンヌ子爵』は、アトスの息子・ラウルの恋と死、財務卿フーケの失脚をめぐる政治劇、鉄仮面をつけた謎の囚人の陰謀、と息つく暇なく展開し、とにかく面白くて寝る間を惜しんで読んだ思い出がある。

《レファレンス・トリビア》

Q 大河ドラマ「いだてん」の金栗四三さんが木更津に来たってほんと？

A 本当です！

金栗四三さんは大正11年に、東京高等師範学校の後輩で木更津中学校（現・木更津高校）の教師を勤めていた秋葉裕之さんと樺太―東京間マラソンを決行し、その東京でのゴールを更に木更津まで延長して走ることにしました。そして、当時の木更津中学校陸上競技部は、金栗四三さんに勝るとも劣らない陸上魂を秘めた顧問の秋葉さんによって、100メートル走で日本新記録を出す等、華々しい活躍を見せています。

そんな彼らは金栗四三さんと秋葉さんの偉業をどのように祝福するべきか話し合い、東京から木更津の間を二人と伴走することにしたのです。

金栗さん、秋葉さん、中学生達は、盛大な歓迎と応援を道中に受けながら走りぬぎ、当時の木更津町のゴールに辿り着きました。



秋葉裕之さんと金栗四三さん
(木更津市郷土博物館金のすず 提供)

参考図書：池 ｷ376 ｷ 『陸上競技部の歩み』

木更津中学校・木更津高等学校（千葉県立）//編

（郷土資料室の資料です）

文化の秋、芸術の秋、スポーツの秋、食欲の秋…あなたの秋は何の秋ですか？

9・10・11月のイベント情報 詳細は館内ポスターやチラシ等をご覧ください。

9月6日～20日 チバミュージアムフェスタ 2020 巡回展（2階ロビー）
千葉県のオリンピックの歴史をパネルにして展示します

9月14日 第12回れきおんミニコンサート
「いだてん」と駆け抜ける戦前五輪ヒストリー

11月2日 第13回れきおんミニコンサート
「昭和の映画音楽祭」（予定）

11月10日 雑誌と図書のリサイクルフェア
図書館で不要になった雑誌などを市民へ差し上げます



編集後記 クラッシュアイスを満たしたグラスでスパークリングワインをがぶ飲みがマイブーム。シャンパンは薄まるともったいないので氷なしで飲みます（笑）ワインは白の辛口一択です♪（めっち）ワインのつまみと言えば、私は白でも赤でもサラミです。エーゲ海の島、もしくはギリシアが発祥の地だそうで、ペルシア発祥のワインと頂くとそれだけでハイカラな気持になります。（マル）